

# J T U 奥能登豪雨災害の義援金について


令和7年1月27日に公益社団法人日本トリアスロン連合の奥能登豪雨災害義援金100万円を珠洲市に寄付しました。また、石川県トリアスロン協会の富木隆夫会長が珠洲市役所を訪問し富木会長から泉谷満寿市長に目録を手渡しました。

北國新聞 2025年1月28日（朝刊）

トリアスロン連合は、日本トリアスロン連合は27日、トリアスロン珠洲大会（北國新聞社共催）を開いてきた珠洲市に、奥能登豪雨の復興支援のため全国の競技者らから集めた義援金100万円を贈った。写真。県トリアスロン協会の富木隆夫会長らが市役所を訪ね、泉谷満寿市長に目録を手渡した。

トリアスロン連合は昨年1月にも、全国から集めた能登半島地震の義援金を珠洲市などに寄付している。富木会長は「珠洲大会は国内でも人気で、全国に珠洲のファンがいる。集まった義援金を復旧復興に活用してほしい」と話した。

トリアスロン連合  
珠洲市に義援金贈る



北陸中日新聞 2025年1月28日（朝刊）

**トリアスロン連合  
珠洲市に寄付金贈る**

豪雨被災支援

昨年9月の能登豪雨で被災した珠洲市に、日本トリアスロン連合が100万円を寄付した。27日、寄付金の目録を県トリアスロン協会が市役所に届けた。

同市では1990年から一昨年までは毎年、トリアスロン大会が開かれていた。その縁で同連合は能登半島地震後にも100万円を寄付したが、再び歴史的な大災害に襲われた同市を支援するため、競技関係者らから寄付を募った。

この日、同協会の関係者3人が市役所を訪れた。富木隆夫会長（66）から目録を受け取った泉谷満寿市長は「大会再開の見通しは立たないけど、開催できるくらいにの復旧復興を目指さないといけない」と応じた。

富木会長は「珠洲大会は歴史があり、ロケーションもよく日本でも五本の指に入る大会だった。全国に珠洲のファンがいる。いくら時間がかかってもいいので何とか再開してほしい」と話した。

紙面構成・川崎 渉  
(高橋信)

寄付金の目録を手渡す富木隆夫会長（右）と珠洲市役所で

